

各種様式等

様式第1号	◎	調査書	71
		(別記1) 調査書の記入方法	
様式第2号		入学志願者通知書	75
様式第3号		令和4年度成績一覧表	76
		(別記2) 成績一覧表の記入方法	
様式第4号		自己申告書	79
様式第5号		高等学校における学習と行動の記録	81
様式第6号		併願しないことの証明書	82
様式第7号		合格通知書	83
様式第8号		入学者選抜結果通知書	84

一般選抜・特別選抜関係

様式第9号	◎ ★	入学願書	85
		(別記3) 入学願書の記入方法	
	◎ ★	静岡県収入証紙貼付用紙	
	◎ ★	実技検査等に関する事前調査票	
	◎ ★	受検票	
	◎ ★	入学者選抜実施当日の携行品	
様式第10号		志願変更願(他校への志願変更証明書)	89
様式第11号		追検査受検願	90
様式第12号		日本語能力及び学校生活等への適応に関する所見	91
様式第13号		副申書	92

再募集関係

様式第14号	◎ ★	入学願書[再募集用]	93
		(別記4) 入学願書[再募集用]の記入方法	
	◎ ★	静岡県収入証紙貼付用紙	
	◎ ★	受検票	
	◎ ★	再募集実施当日の携行品	
様式第15号		再募集志願資格証明書	96

その他の様式

様式第16号		身元保証承諾書	97
様式第17号		受検上の配慮願	98
様式第18号		受検上の配慮通知	99
様式第19号		県外公立高等学校志願に関する証明書交付願	100
様式第20号		志願資格確認依頼書(志願資格確認証明書)	101

(注1) ◎印の様式

県教育委員会が作成し、県内公立中学校長、義務教育学校長及び市立高等学校長へは各市町教育委員会を通じて、また、県立高等学校長及び特別支援学校長へは直接、それぞれ配布する。

なお、県外(海外を含む。)の中学校長等へは、県教育委員会が直接送付する。

(注2) ◎印以外の様式

それぞれの該当者が作成する。

なお、これらの用紙は、本実施要領の該当頁を複写(コピー)して使用してもよい。

(注3) ★印の様式

市立高等学校を志願する場合には、当該市教育委員会が作成した様式を使用する。

SAMPLE

調 査 書

志望課程	全・定・通	志望学科					受付番号	※1	※2						
① ふりがな 氏 名						性別	生 年 月 日								
							平成 年 月 日生（満 歳）								
						② 組番	組 番								
③ 欠席等の 状況	学 年	欠席日数	遅刻回数	早退回数	欠 席 等 の 主 な 理 由										
	1 年														
	2 年														
	3 年														
学 習 の 記 録	教 科	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保健体育	技術・家庭	英 語					
	④評定														
	⑤観点別学習状況														
	⑥総合的な 学習の時間														
	⑦特記事項														
⑧ 特別活動の記録				⑨ 行動の記録								⑩			
内容	学級 活動	生徒会 活動	学校 行事	項目	基本的な 生活習慣	健康・体力 の向上	自主・自律	責任感	創意工夫	思いやり・ 協力	生命尊重・ 自然愛護	勤労・奉仕	公正・公平	公共心・ 公德心	新体力テスト の総合得点
状況				状況											
⑪ 特記事項															
⑫ 諸活動の 記録	顕 著 な 実 績							活 動 の 内 容							
⑬ その他															
この記載事項に誤りがないことを証明する。											令和5年 月 日				
中学校名															
記載者氏名											校長氏名				
											印				

静岡県教育委員会

(別記1)

調査書の記入方法

1 全般

(1) 調査書は、本実施要領に示す様式第1号によって作成する。

なお、作成した調査書を複写（コピー）してもよい。この場合、複写後に校長印（校長印は職印）を押印する。

(2) 調査書は、志願者1人につき1通を作成する。

(3) 数字で記入する欄は、1、2、3等の算用数字を用いる。

(4) 各項目について、記入事項のない場合は、斜線を引くか、又は「なし」と記入する。

ただし、特別活動の記録（⑧）、行動の記録（⑨）においては、記入事項のない場合は空欄とする。

(5) ※印の欄は記入しない。

2 各項目

(1) 基本的事項

ア 「志望課程」及び「志望学科」

「志望課程」は「全・定・通」のいずれかを○で囲む。

なお、コンピュータ等で作成する場合は、不要な文字・記号を削除してもよい。

「志望学科」は、第1志望について学科（科）の略称を記入する。

なお、学科（科）の略称は、「静岡県公立高等学校学科（科）別略記」（付属資料2）に示した「略記」を用いる。

また、分校等に志願する場合は、「（分）」と併記する。

イ 氏名、ふりがな（①）

中学校生徒指導要録から転記する。

ウ 性別

男又は女を記入する。

エ 生年月日

年齢は、令和5年4月1日現在の満年齢で、月以下は切り捨てて記入する。

オ 組番（②）

当該生徒の所属する学級の名称及び出席簿の番号を、「A組5番」のように記入する。これは、成績一覧表（様式第3号）の当該番号と一致させる。

なお、各学級においては同一番号がないように留意する。中学校卒業者については記入しない。

(2) 欠席等の状況（③）

ア 「欠席日数」、「遅刻回数」、「早退回数」

中学校卒業見込みの者については、欠席日数、遅刻及び早退の回数は、第1学年、第2学年及び第3学年第2学期末までの分について記入する。2学期制の学校においては12月末までの分について記入する。

中学校卒業者については、中学校生徒指導要録から転記する。

イ 欠席等の主な理由

欠席、遅刻及び早退の主な理由を記入する。

(3) 学習の記録

ア 評定 (④)

中学校卒業見込みの者については、第3学年における第2学期末(12月末)までの学習状況について、「静岡県公立小中学校児童生徒指導要録の様式及び取扱い」に準じ、5段階の目標に準拠した評価で記入する。

2学期制の学校においては、12月末までの学習状況について記入する。

中学校卒業者については、中学校生徒指導要録から第3学年の評定を転記する。

イ 観点別学習状況 (⑤)

中学校卒業見込みの者については、第3学年における第2学期末(12月末)までの学習状況について、「静岡県公立小中学校児童生徒指導要録の様式及び取扱い」に準じ、各教科の観点ごとにA、B又はCで評価する。記入に当たっては、各教科、左から順に「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を並べ、A又はCのみを記入し、Bについては、空欄とする。

令和3年度の中学校卒業者については、中学校生徒指導要録から第3学年の観点別学習状況を転記する。令和2年度以前の中学校卒業者については、すべて斜線を引く。

ウ 総合的な学習の時間 (⑥)

第3学年におけるテーマや取組を中心に記入する。

記入に当たっては、「静岡県公立小中学校児童生徒指導要録の様式及び取扱い」に準じ、学習活動、観点、評価を総合して記入する。

中学校卒業者については、中学校生徒指導要録から転記してもよい。

エ 特記事項 (⑦)

中学校卒業見込みの者については、各学校で選択教科を開設している場合は、その教科名と評定及び観点別学習状況の評価を記入し、評価基準を簡潔に記入する(例：国語(3BBB) 評定は1から5の5段階、観点別学習状況はA、B又はCの3段階)。

中学校卒業者については、中学校生徒指導要録から転記してもよい。

その他、学習の記録について、特に記述を要すると判断した状況を具体的に記入する。

(4) 特別活動の記録 (⑧)

学級活動、生徒会活動、学校行事における活動について、その趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、状況欄に○印を記入する。

中学校卒業者については、中学校生徒指導要録から転記してもよい。

(5) 行動の記録 (⑨)

各教科、総合的な学習の時間、特別の教科 道徳、特別活動、その他学校生活全体にわたって認められる生徒の行動について、項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、状況欄に○印を記入する。

中学校卒業者については、相当する項目ごとに、中学校生徒指導要録から転記してもよい。その際、相当する項目がない場合は、斜線を引く。

(6) 新体力テストの総合得点 (⑩)

令和4年度に実施した「新体力テスト」の結果の総合得点を記入する。総合得点は、「新体力テスト実施要項」による。

なお、中学校卒業者及び令和4年度に1種目でも実施できなかった者については記入せず、斜線を引く。

(7) 特記事項 (⑪)

特別活動における生徒の活動の状況について、所属する係名や委員会名及び学校行事における役割の分担等とともに、その活動の内容を記入する。

また、生徒の行動の状況について、総合的にみた場合の特徴を記入する。その際、長所を取り上げることを基本とする。

中学校卒業生については、中学校生徒指導要録から転記してもよい。

(8) 諸活動の記録 (⑫)

ア 顕著な実績

校内外における文化的活動、体育的活動、ボランティア活動等や特技について、顕著な実績を記入する。

中学校卒業生については、中学校生徒指導要録から転記してもよい。

イ 活動の内容

校内外における文化的活動、体育的活動、ボランティア活動等や特技について、その活動の内容を記入する。

中学校卒業生については、中学校生徒指導要録から転記してもよい。

(9) その他 (⑬)

ア 進路、適性及び意欲等

進路、適性及び当該高等学校を志願するに当たっての学業に対する意欲等、特に記述を要すると判断した事項があれば、それを記入する。

イ 新体力テスト

新体力テストを実施しなかった者については、その理由等を記入する。

ウ 身体の状態

就学上、特に配慮を必要とする身体の疾病、異常又は既往症等があれば、それを記入する。

エ 就職等の状況

定時制の課程の志願者については、決定した（又は希望する）就職先事業所名等の状況を記入する。

オ 海外での就学状況

海外で保護者と共に居住していた者については、国名、期間及び学校名を記入する。

カ その他特に記入する事項

入学者選抜の資料として特に高等学校に知らせておく必要がある事項、入学後留意する必要がある事項等を記入する。

(10) 校長氏名等

調査書作成年月日、中学校名、記載者氏名及び校長氏名を記入し、校長印（校長印は職印）を押印する。

(11) 特別な教育課程を編成・実施する中学校からの志願者

特別な教育課程を編成・実施する中学校からの志願者の調査書の記入は、県教育委員会の指示による。

(12) 県外（海外を含む。）からの志願者

県外から志願する者の調査書の記入は、原則として本記入方法による。

入学志願者通知書

令和 年 月 日

高等学校校長 様

立 立 中学校長(氏 名)



下記の者は、貴校へ入学を希望しています。ついては、調査書 通、成績一覧表1組を提出します。

記

番号	課程 学科(科)	志願者氏名	志願者数		性別	所属学級	計 人		学校裁量枠	
			男	女			備 考	第1志望	第2志望	
									※1	※2

- (注) 1 「課程」には、全日制、定時制の別を記入し、それぞれ別葉とする。分枝等を志願する場合は、(分) と記入し、本校とは別葉とする。
 2 「志願者数」は男女別及び合計人数を記入する。2枚以上におわたる場合は1枚目のみに記入する。
 3 「番号」には、通し番号を記入する。なお、学科(科)を併置している高等学校にあっては、学科(科)のまともり順に作成する。
 4 「学科(科)ごと」に別葉にする場合、2枚目以降の学科(科)の用紙については、「番号」等以下の欄のみ記載する。
 5 「学科(科)」については、付属資料2の略記でもよい。
 6 「年齢」は令和5年4月1日現在の満年齢で、月以下は切り捨てる。
 7 「備考」には、次の(1)から(4)に該当する場合に記入する。
 (1) 中学校卒業者は、「平成〇〇年3月卒業」等と記入する。
 (2) 海外帰国生徒選抜を志願する場合には「海外」、外国人生徒選抜を志願する場合には「外国」、長期欠席生徒選抜を志願する場合には「長期」、連携型選抜を志願する場合には「連携」、県外生徒特色選抜を志願する場合には「県外」と記入する。
 (3) 自己申告書を提出する場合には「自己」と記入する。
 (4) 芸術科に志願する場合は、「音楽」、「美術」又は「書道」のうち志願先高等学校に設置されている専攻名のいずれか希望するものを記入する。
 「学校裁量枠」の第1志望の欄には、希望者を対象とする学校裁量枠の選抜段階を志願する場合に、付属資料3に示す選抜段階の番号(I、II、…)を記入する。ただし、併願を実施する選抜段階(付属資料3で「選抜」において重視する観点)に★印のあるものを志願する場合には、以下の例のように記入する。
 (例) 選抜段階Iを志願し、第1志望の科のみ選抜対象とすることを希望する場合・・・「I-1」
 選抜段階Iを志願し、第2志望の科まで選抜対象とすることを希望する場合・・・「I-1-2」
 第2志望の欄には、「中学校における学習」を併願する場合には、併願する段階番号を記入する。
 全員を対象とする、学校裁量枠の選抜段階については記入しない。
 8 通知書本文中のうち、「調査書 通」、「成績一覧表1組」については、必要に応じて記入又は抹消する。
 9 本用紙は、中学校長が作成する。ただし、入学年度の1月1日以降に高等学校を中途退学した者の場合は、この様式に準じて在学していた高等学校の校長が作成する。
 10 本用紙は、原則として、別途配布する電子ファイルを用いて作成し、プリントアウトしたものの先頭葉に校長氏名の記入及び校長印の押印をして、1部提出する。
 11 なお、県外(海外を含む。)から志願する場合には、本用紙を複写(コピー)して使用してもよい。
 ※印の欄には記入しない。

(別記2)

成績一覧表の記入方法

1 一般的注意

(1) 成績一覧表は、本実施要領に示す様式第3号によって各中学校が作成する。

なお、作成したものを複写（コピー）してもよい。この場合、複写後に校長印（校長印は職印）を押印する。

(2) 成績一覧表は、一般選抜と特別選抜（長期欠席生徒選抜を除く。）で併せて1通提出する。また、再募集では新たに1通提出する。ただし、一般選抜と特別選抜ですでに提出した高等学校に対しては提出の必要はない。

(3) 成績一覧表は、志願先高等学校の課程別（通信制の課程を除く。）、本校・分校等別に1部ずつ提出する。

(4) 成績一覧表は、作成時に在籍している第3学年の生徒全員を対象とし、特別支援学級設置校においては、通常学級、特別支援学級別に、分校を持つ学校においては、本校、分校別に作成する。作成前に転出等した生徒については記載しない。特別支援学級分を提出するのは、特別支援学級在籍生徒の志願する高等学校のみとする。

なお、中学校卒業者については、作成する必要はない。

(5) 第2学期の評定が行われた後に転入等した場合

「各教科の学習の記録の評定」欄には、転入等する前に在籍していた中学校等の成績に基づいて記入し、備考欄に「〇月〇日転入」等と記入する。この場合、志願先高等学校には、転入等する前に在籍していた中学校等の成績を添付する。

(6) 数字で記入する欄は、1、2、3等の算用数字を用いる。

(7) 特別な教育課程を編成・実施する中学校の成績一覧表の作成は、県教育委員会の指示による。

2 記入方法

(1) 1枚の用紙における記入人数

1枚の用紙に40人程度の生徒の記録を記入することを原則とするが、学級ごとに1枚としてもよい。

(2) ※

特別支援学級又は分校の成績一覧表については、「特別支援学級」又は「分校」と記入する。

(3) 枚のうち

成績一覧表が2枚以上にわたる場合は3枚のうち2のように記入し、1枚で終わる場合は1枚のうち1と記入する。

(4) 提出先

先頭葉についてのみ、提出する高等学校名、課程名（分校等の場合は、「(分)」と併記する。）を記入する。

(5) 「組番」、「性別」

ア 「組番」

調査書の該当欄のものと一致させる（調査書の「A組5番」は、「A-5」のように記入する。）。

イ 「性別」

男又は女を記入する。

(6) 「各教科の学習の記録の評定」

第3学年における第2学期末までの学習状況について、「静岡県公立小中学校児童生徒指導要録の様式及び取扱い」に準じ、5段階の目標に準拠した評価で記入する。

2学期制の学校においては、第3学年における12月末までの学習状況について記入する。

なお、空欄には記入しない。

(7) 「中学校名、校長氏名及び印」

中学校名（分校のある場合は本校、分校の別を明示する。）を各一覧表に記入する。日付、校長氏名の記入及び職印の押印は、最終葉についてのみとする。

(8) 県外（海外を含む。）からの志願者

県外から志願する者の成績一覧表の作成は、原則として本記入方法による。

SAMPLE

自 己 申 告 書

令和 年 月 日

立 高等学校長 様

中学校名

志願者氏名

保護者氏名

印

（氏名を自署する場合は、押印は不要です。）

私は、貴校への志願に当たり、次のとおり申告します。

本人記入欄（長期欠席等の理由、志願の動機、高校生活への抱負など）

<p>SAMPLE</p>

（裏面へ）

- （注）
- 1 本用紙は、志願者が作成する。
 - 2 本用紙は、複写（コピー）して使用してもよい。
 - 3 記入は志願者本人が行うが、必要に応じ裏面に保護者が補足してもよい。
 - 4 必要事項を記入した後、厳封の上、中学校長等に提出する。その際、封筒の表に「自己申告書」と朱書するとともに、中学校名、志願者氏名を明記する。

(裏)

保護者記入欄

併願しないことの証明書

令和 年 月 日

立 高等学校長 様

立 中学校長 氏 名

下記の者は、令和 年度高等学校入学者の募集において、貴校以外の公立
高等学校へ出願しない者であることを証明します。

記

中学校名	都 道 府 県 立 中学校 卒業見込
氏 名	
生年月日	平成 年 月 日生
住 所	

- (注) 1 本用紙は、中学校長が作成する。
2 本用紙は、複写（コピー）して使用してもよい。

合格通知書

令和 年 月 日

立 中学校

受検番号（ ）

氏 名 様

高等学校長 印

あなたは、令和 年度静岡県公立高等学校入学者選抜において
本校 制の課程 科に合格したので通知します。

- (注) 1 本用紙は、高等学校長が作成する。
2 希望者を対象とする学校裁量枠を設けた高等学校においては、希望者のうち、学校裁量枠で合格した者には、「合格（希望者対象の学校裁量枠【選抜段階】）したので」と記入する。

枚のうち

入学者選抜結果通知書

令和 年 月 日

立 中学校長 様

立 高等学校長 印

貴校から本校の（ 選抜種別 ）を志願した者について、選抜の結果は、下記のとおりです。

記

課 程	合格者数／志願者数		人／人
学科(科)名	受検番号	志 願 者 氏 名	選 抜 結 果

- (注)
- 1 本用紙は、選抜ごとに高等学校長が作成する。
 - 2 「選抜種別」には、一般選抜、海外帰国生徒選抜、外国人生徒選抜、長期欠席生徒選抜、連携型選抜、県外生徒特色選抜、秋季選抜又は再募集の別を記入する。
 - 3 「課程」には、全日制、定時制の別を記入し、それぞれ別葉とする。分校等にあつては、「(分)」と併記する。
 - 4 「合格者数／志願者数」には、当該中学校のそれぞれの合計人数を記入する。2枚以上にわたる場合は1枚目のみに記入する。
 - 5 「学科(科)名」には、志望した学科(科)名を記入する。2つ以上の学科(科)を設置している学校において併願を認めている際は、合格の場合はその学科(科)名を、不合格の場合は第1志望の学科(科)名を記入する。
 - 6 「選抜結果」には、合格の場合は○、不合格の場合は×を記入する。希望者を対象とする学校裁量枠で合格した者については、「○(希望者対象の学校裁量枠【選抜段階】)」と記入する。受検辞退の場合は「辞退」と記入する。

様式第9号

[一般選抜、海外帰国生徒選抜、外国人生徒選抜、長期欠席生徒選抜、連携型選抜、県外生徒特色選抜用]

受付番	号	志望課程			選抜の種類				※1
志望	科	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望	志願する学校 裁量枠	※2
<p>入 学 願 書</p> <p style="text-align: right;">令和5年 月 日</p> <p>静岡県立 高等学校長 様</p> <p>私は貴校に入学したいので保護者と連署して志願します。</p>									
志願者	(ふりがな) 氏 名	⑩ (氏名を自署する場合は、押印は不要です。)							
	生 年 月 日	昭和・平成	年	月	日	生			
	現 住 所	(〒 -)							
	入 学 後 の 予 定 住 所	(〒 -)							
保護者	(ふりがな) 氏 名	⑩ (氏名を自署する場合は、押印は不要です。)						志願者との 続 柄	
	現 住 所	(〒 -)							
連絡先電話番号		() -							
志願者の 学歴及び 職歴	学 校 名				年 月 日		入学・卒業・その他		
	小学校第6学年						卒 業		
	中学校第1学年						入 学		
	中学校第3学年						卒業見込・卒業		

(別記3)

入学願書の記入方法

- 1 入学願書の様式は、静岡県立高等学校学則第14条によるものである。
- 2 本用紙は、県教育委員会が交付する。
- 3 「受付番号」の欄は記入しない。
- 4 「志望課程」の欄には、全日制の場合は「全日制」、定時制の場合は「定時制」と記入する。分校等にあつては「(分)」と併記する。
- 5 「選抜の種類」の欄には、一般選抜の場合は「一般」、海外帰国生徒選抜の場合は「海外」、外国人生徒選抜の場合は「外国」、長期欠席生徒選抜の場合は「長期」、連携型選抜の場合は「連携」、県外生徒特色選抜の場合は「県外」と記入する。

なお、外国人生徒選抜において県立浜松江之島高等学校芸術科を志願する場合は、「※1」の欄に希望する専攻を、「音楽」又は「美術」と記入する。

- 6 「志望学科」の欄には、学科(科)名を記入する。第2志望以下がない場合には、該当する欄に斜線を引く。
なお、学科(科)の記入には、付属資料2の略記を使用してもよい。
- 7 「志願する学校裁量枠」の欄には、希望者を対象とする学校裁量枠の選抜段階を志願する者のみ、その段階番号(I、II・・・)を記入する(付属資料3参照)。希望者を対象とする選抜段階を志願しない場合及び希望者を対象とする選抜段階を設定していない学校を志願する場合には、斜線を引く。

ただし、併願を実施する選抜段階(付属資料3で「選抜において重視する観点」に★印のあるもの)を志願する場合には、以下の例のように記入する。

(例)

選抜段階Iを志願し、第1志望の科のみ選抜対象とすることを希望する場合・・・「I-1」

選抜段階Iを志願し、第2志望の科まで選抜対象とすることを希望する場合・・・「I-2」

なお、芸術科を志願する場合は、希望する専攻を、「音楽」、「美術」又は「書道」と記入する。

- 8 「※2」の欄には、学校裁量枠で「中学校における学習」を併願する場合に、併願する段階番号を記入する。併願しない場合及び希望者を対象とする選抜段階を設定していない学校を志願する場合には、斜線を引く。

(例)

選抜段階Iを志願し、選抜段階IIを併願する場合

・・・「志願する学校裁量枠」の欄に「I」、「※2」の欄に「II」

選抜段階IIを志願し、選抜段階IIIを併願する場合

・・・「志願する学校裁量枠」の欄に「II」、「※2」の欄に「III」

選抜段階Iについて、第2志望の科まで選抜対象とすることを希望し、選抜段階IIを併願する場合

・・・「志願する学校裁量枠」の欄に「I-2」、「※2」の欄に「II」

- 9 「志願者 入学後の予定住所」の欄は、現住所と異なる場合に記入する。
- 10 「連絡先電話番号」の欄には、志願者又は保護者の連絡先電話番号を記入する。
- 11 中学校第1学年入学以降に転入学又は編入学をした者は、「志願者の学歴及び職歴」の欄の第4行以降に必要な事項を記入する。

静岡県収入証紙貼付用紙

受付番号 (※) () 志願者氏名 ()
 志望課程 () () 現住所 () ()

令和5年度静岡県立高等学校入学者選抜を受検するに当たり、入学検定料を静岡県収入証紙にて納入いたします。

全日制 2,200 円 定時制 950 円 (志願者は消印しないこと。)	収入証紙貼付欄
--	---------

受付番号 (※) は記入しない。

----- 切 取 線 (切り取らないで提出する。) -----

入学者選抜実施当日の携行品

受検票、鉛筆、消しゴム、三角定規 (分度器機能のあるものを除く。)、*コンパス、上履き、昼食 (*印は、数学を実施しない学校においては必要ない。)

その他、実施校、学科等において指定された物。

筆箱、鉛筆削り、時計 (計算機能、辞書機能、通信機能等のあるものを除く。) は持参してもよい。

会場での貸借は許されないので、忘れないようにすること。

携帯電話の持参は認めない。また、その他、学力検査等の解答に利用できると考えられるものの持参は認めない。

注意

- 1 受付開始 10 分前までに会場に到着するようにし、万一遅刻したときは、会場係員に連絡すること。
- 2 受検票を忘れたときは、受付に連絡して指示を受けること。
- 3 急に病気になったり、交通事故等で会場へ行けなくなったりしたときは、会場高等学校に電話等で連絡し、指示を受けること。
- 4 受検票は折らないようにすること。

受 検 票

令和5年度
 静岡県立高等学校
 入 学 者 選 抜

受検番号	※
------	---

氏名 _____

志望課程 全日制・定時制 _____

志望学科 (科) _____

志願する希望者
 対象の選抜段階 []

志願先高等学校 _____

校印

注意

- 1 ※以外は志願者が記入する。
- 2 志望課程は、該当する課程を○で囲む。
- 3 志望学科 (科) は、第1志望のみ記入する。
- 4 志願する希望者対象の選抜段階は、希望者を対象とする学校裁量枠の選抜段階を志願者のみ、第1志望の段階番号 (I、II、I-1、I-2等) を [] 内に記入する。志願しない場合及び設定していない学科 (科) を志願する場合には、[\] のように斜線を引く。

実技検査等に関する事前調査票

提出を求めている場合のみ記入する。それ以外は空欄のままとする。

※以外は志願者が記入する。

志願先 高等学校			
学科 (科)		選抜 段階	
受検番号	※		
氏 名			

----- 切 取 線 (切り取らないで提出する。) -----

(裏)

学力検査・面接日程

1 全日制の課程

3月2日(木)	3月3日(金)
8:30 受付開始	8:30 受付開始
8:40 注意伝達	8:40 注意伝達
8:50 検査室へ入室 解答上の注意	8:50 控室へ入室
9:05～ 9:55 国語	9:00 面接等
10:10～11:00 数学	
11:15～12:05 英語	
12:55～13:45 社会	
14:00～14:50 理科	
15:00～面接カード記入等	

- ・「面接カード記入」は、面接カードを使用する学校のみとする。
- ・学校独自選抜資料の日程は実施校が定める。
- ・外国人生徒選抜では、9:00以降に日本語基礎力検査及び面接を実施する。
- ・3月3日の日程は、志願者数等により、変更する場合がある。変更がある場合は事前に連絡する。

2 定時制の課程

3月2日(木)
8:30 受付開始
8:40 注意伝達
8:50 検査室へ入室 解答上の注意
9:05～9:55 作文又は国語
10:10～面接上の注意、面接カード 記入及び面接
*数学の学力検査を実施する学校
10:10～11:00 数学
11:15～面接上の注意、面接カード 記入及び面接

- ・「面接カード記入」は、面接カードを使用する学校のみとする

志 願 変 更 願

立 高等学校長 様

立 中学校長 氏 名 印

受検番号 () 志願者氏名 印
 保護者氏名 印
 (氏名を自署する場合は、押印は不要です。)

下記のとおり志願変更したいので、変更手続をお願いします。

記

(1 又は 2 を○で囲む。)

1 貴校における志願変更

		変 更 前	変 更 後
選 抜 の 種 別			
課 程		の 課 程	の 課 程
学 科	第 1 志 望	科	科
	第 2 志 望	科	科
	第 3 志 望	科	科
	第 4 志 望	科	科
志願する希望者 対象の選抜段階	第 1 志 望		
	第 2 志 望		

※選抜の種別には、一般選抜、海外帰国生徒選抜、外国人生徒選抜、長期欠席生徒選抜、連携型選抜、県外生徒特色選抜のいずれかを記入する。

※特別選抜について記入する場合には、学科の第 2 志望以降は記入しない。

※希望者を対象とする学校裁量枠の選抜段階への志願を変更する場合には、その段階番号を記入し、志願しない場合には「無」と記入する。

2 他校への志願変更

切 取 線 (切り取らないで提出する。)

他校への志願変更証明書

令和 年 月 日

立 高等学校長 印

下記の者について、他校への志願変更のため志願を取り消したことを証明します。

記

- 1 出身中学校名 立 中学校
- 2 氏 名
- 3 旧 志 願 先

選 抜 の 種 別	
課 程	の 課 程
学 科	科

- (注) 1 本用紙のうち「志願変更願」は、志願者が作成し、中学校長が押印の上、旧志願先高等学校長に提出する。「他校への志願変更証明書」は、旧志願先高等学校長が作成し、中学校長を経由して志願変更者に交付する。
- 2 本用紙は、複写 (コピー) して使用してもよい。
- 3 分校等については、「課程」の欄に「(分)」と併記する。

追 検 査 受 検 願

令和 年 月 日

立 高等学校長 様

受検番号（ ） 志願者氏名 ⑩
(氏名を自署する場合は、押印は不要です。)

下記のように追検査を受検させてくださるようお願いいたします。

記

- 1 教 科 名 等
- 2 理 由

- (注) 1 本用紙は、志願者が作成する。
2 本用紙は、複写（コピー）して使用してもよい。
3 教科名等欄には、教科名、「面接」、「作文」等を記入する。
なお、学力検査において全教科受検できなかった場合には「全教科」と記入する。
4 理由が病気の場合には医師の診断書等、交通事情等の理由による場合にはその事務担当責任者の証明書等、受検できなかった理由が正当であることを証明するに足る書類を添える。

日本語能力及び学校生活等への適応に関する所見

(外国人生徒選抜用)

立 高等学校長 様

下記の者に関する所見は次のとおりです。

令和 年 月 日

立 中学校長 氏 名 印

記

- 1 志願者氏名
- 2 生年月日 年 月 日生
- 3 国 籍
- 4 入国年月日 平成・令和 年 月 日

① 生活面及び学習面 における日本語の 運 用 能 力	
② 日常生活及び学校 生活への適応状況	
③ 特記すべき事項	

- (注) 1 本用紙は、中学校長が作成する。
2 本用紙は、複写 (コピー) して使用してもよい。
3 ①及び②については、具体的事例を踏まえて記入する。
4 ③については、母国における学習の状況及び成果の概要等、特記すべき事項のある場合は具体的に記入する。

副 申 書

(長期欠席生徒選抜用)

令和 年 月 日

立 高等学校長 様

立 中学校長 氏 名 印

貴校の長期欠席生徒選抜への志願に当たり、別添のとおり自己申告書が提出されましたので、下記のとおり副申します。

記

1 志願者氏名

2 内 容

① 欠 席 等 の 状 況	学 年	欠 席 日 数			遅刻回数	早退回数
		病 気	そ の 他	計		
	1					
	2					
	3					
② 欠 席 等 の 理 由						
③ 中 学 校 生 活 の 状 況						
④ 高 等 学 校 生 活 へ の 適 応 可 能 性						
⑤ 特 記 す べ き 事 項						

- (注) 1 本用紙は、中学校長が作成する。
 2 本用紙は、複写 (コピー) して使用してもよい。
 3 ④については、特に、第 3 学年後半における本人の回復状況等を記入する。
 4 適応指導教室等への通所や保健室登校により出席扱いとなっている場合、その概要を⑤に記入する。

受 付 号			志 望 課 程				選 抜 の 種 類	再 募 集	※1
									※2
志 望 学 科	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望	志 願 す る 学 校 裁 量 枠		
<p>入 学 願 書</p> <p>令和5年 月 日</p> <p>静岡県立 高等学校長 様</p> <p>私は貴校に入学したいので保護者と連署して志願します。</p>									
志 願 者	(ふりがな) 氏 名					⑩			
			(氏名を自署する場合は、押印は不要です。)						
	生 年 月 日	昭和・平成		年	月	日	生		
	現 住 所	(〒 -)							
保 護 者	(ふりがな) 氏 名					⑩		志 願 者 と の 続 柄	
			(氏名を自署する場合は、押印は不要です。)						
現 住 所	(〒 -)								
連絡先電話番号		()		-					
志 願 者 の 学 歴 及 び 職 歴	学 校 名			年 月 日			入 学 ・ 卒 業 ・ そ の 他		
	小学校第6学年						卒 業		
	中学校第1学年						入 学		
	中学校第3学年						卒 業 見 込 ・ 卒 業		

(別記4)

入学願書[再募集用]の記入方法

- 1 入学願書の様式は、静岡県立高等学校学則第14条によるものである。
- 2 本用紙は、県教育委員会が交付する。
- 3 「受付番号」の欄は記入しない。
- 4 「志望課程」の欄には、全日制の場合は「全日制」、定時制の場合は「定時制」と記入する。分校等にあつては「(分)」と併記する。
- 5 「志望学科」の欄には、学科(科)名を記入する。第2志望以下がない場合には、該当する欄に斜線を引く。
なお、学科(科)の記入には、付属資料2の略記を使用してもよい。
- 6 「※1」及び「※2」の欄には記入しない。
- 7 「志願者 入学後の予定住所」の欄は、現住所と異なる場合に記入する。
- 8 「連絡先電話番号」の欄には、志願者又は保護者の連絡先電話番号を記入する。
- 9 中学校第1学年入学以降に転入学又は編入学をした者は、「志願者の学歴及び職歴」の欄の第4行以降に必要事項を記入する。

SAMPLE

静岡県収入証紙貼付用紙

受付番号 (※) 志願者氏名 ()

志望課程 () 現住所 ()

令和5年度静岡県立高等学校入学者選抜を受検するに当たり、入学検定料を静岡県収入証紙にて納入いたします。

全日制 2,200 円
定時制 950 円
(志願者は消印しないこと。)

収入証紙貼付欄

受付番号 (※) は記入しない。

切取線 (切り取らないで提出する。)

再募集実施当日の携行品

受検票、鉛筆、消しゴム、上履き。筆箱、鉛筆削り、時計 (計算機能、辞書機能、通信機能等のあるものを除く。) は持参してもよい。

会場での貸借は許されないので、忘れないようにすること。

携帯電話の持参は認めない。また、その他、作文等の解答に利用できると考えられるものの持参は認めない。

注意

- 1 受付開始 10 分前までに会場に到着するようにし、万一遅刻したときは、会場係員に連絡すること。
- 2 受検票を忘れたときは、受付に連絡して指示を受けること。
- 3 急に病気になったり、交通事故等で会場へ行けなくなったりしたときは、会場高等学校に電話等で連絡し、指示を受けること。
- 4 受検票は折らないようにすること。

受検票

令和5年度
静岡県立高等学校再募集

受検番号	※
------	---

氏名

志望課程 全日制・定時制

志望学科 (科)

志願先高等学校

校印

注意

- 1 ※以外は志願者が記入する。
- 2 志望課程は、該当する課程を○で囲む。
- 3 志望学科(科)は、第1志望のみ記入する。

日程

3月22日 (水)

8:30 受付開始
8:40 注意伝達
9:00~9:50 作文又は小論文
作文又は小論文終了後

面接上の注意、面接カード記入及び面接等

・「面接カード記入」は、面接カードを使用する学校のみとする。

再募集志願資格証明書

令和 年 月 日

立 高等学校長 様

立 中学校長 氏 名 印

下記の者は、令和 年度静岡県公立高等学校入学者選抜の再募集への志願に
当たり、令和 年度静岡県公立高等学校入学者選抜実施要領に定める志願資格
を有する者であることを証明します。

記

中 学 校 名	立 中学校 卒業 卒業見込
氏 名	
志願資格を有する 具体的理由	

- (注) 1 本用紙は、中学校長が作成する。
2 本用紙は、複写 (コピー) して使用してもよい。

身元保証承諾書

令和 年 月 日

立 高等学校長 様

身元保証人 氏 名 ㊟

（氏名を自署する場合は、押印は不要です。）

住 所

電 話（ ） ー

下記の者が貴校を受検するに当たり、志願者の保護者が帰国するまでの間、
志願者の身元保証人となることを承諾します。

記

- 1 志願者氏名
- 2 志願者の保護者氏名
- 3 志願者と身元保証人との関係
- 4 志願者の帰国後の住所

- （注）
- 1 本用紙は、身元保証人が作成する。
 - 2 身元保証人となりうる者は、おじ、おばなどの親族及び保護者の勤務する会社の責任者などである。ただし、民法上の保証人とは異なる。
 - 3 本用紙は、複写（コピー）して使用してもよい。
 - 4 本用紙は、志願者の保護者が、原則として入学後 1 年以内に、志願者と同居することが明らかな場合に提出することができる。

受 検 上 の 配 慮 願

令和 年 月 日

立 高等学校長 様

立 中学校 (卒 業・卒業見込)

志願者氏名 (印)

保護者氏名 (印)

(氏名を自署する場合は、押印は不要です。)

住 所 電話番号

下記のとおり、学力検査及び面接等の受検上の配慮をお願いします。

記

1 選抜の種類

①一般選抜 ②その他 ()

2 志願課程・学科 (科)

課程 () 学科 () 科 ()

3 配慮を希望する事項・内容 (特に配慮を希望する内容)

(1) 学力検査及び面接の会場等

- ①他の受検者と同じ検査室でよい。
- ②別室での受検を希望する。
- ③病院での受検を希望する。

(病院名:)

(2) 学力検査及び面接の方法等

- ①拡大文字による検査問題を希望する。
- (拡大率:)
- ②放送による問題において読唇を希望する。
- ③点字による問題を希望する。
- ④その他 ()

(3) その他 (器具の持込み、介助者の付添い等)

4 配慮を希望する理由 (具体的な障害の内容や程度等)

中学校長記入欄

学力検査及び面接等の実施に当たり、上記の配慮が必要であると判断します。

令和 年 月 日

学 校 名 立 中 学 校

校 長 氏 名 (印)

- (注) 1 本用紙は、志願者が作成する。
 2 本用紙は、複写 (コピー) して使用してもよい。
 3 該当する番号には○を付け、特に配慮を要する内容を記入する。
 4 中学校長は、配慮内容の妥当性について記載した資料 (診断書等及び志願者の中学校での学習・生活の様子等についての説明書 (様式自由)) を添付して、志願先高等学校長に提出する。
 5 分校等を志願する場合は、「課程」欄に「(分)」と併記する。

受検上の配慮通知

令和 年 月 日

立 中学校長 様

志願者 様

立 高等学校長 印

下記のとおり、学力検査及び面接等の受検上の配慮をいたします。

記

1 選抜の種類

①一般選抜 ②その他（ ）

2 志願課程・学科（科）

課程（ ） 学科（ ） 科（ ）

3 配慮事項・内容

(1) 学力検査及び面接の会場等

(2) 学力検査及び面接の方法等

(3) その他（器具の持込み、介助者の付添い等）

- (注) 1 本用紙は、高等学校長が作成する。
2 本用紙は、複写（コピー）して使用してもよい。
3 分校等の場合は、「課程」欄に「(分)」と併記する。

県外公立高等学校志願に関する証明書交付願

令和 年 月 日

静岡県教育委員会教育長 様

立 中学校長 氏 名 印

下記の保護者から、静岡県公立高等学校を志願しない旨の申し出があり、調査の結果適当と確認できたので、別紙証明書を交付くださるようお願いします。

記

- 1 志願者氏名及び現住所
- 2 保護者氏名及び現住所
- 3 転出先の住所
- 4 転出の理由
- 5 志願先高等学校名及び所在地

(1) 本人による照会

志願者は、その志願する都道府県教育委員会に各自で照会し、志願に必要な書類の交付を受ける。

(2) 教育長の証明書

本県の中学校出身者のうち、県外の公立高等学校に進学を希望する者で、静岡県教育委員会教育長の証明書を必要とする都道府県に志願する者は、交付願に次の①及び②の書類を添付し、中学校長を経由して、県教育委員会高校教育課長に願い出る。

なお、この証明書の交付を受けた者は、いかなる場合も静岡県公立高等学校に入学を志願することができない。

①志願先の都道府県教育委員会が定めた証明用紙

②切手（簡易書留・速達とする。）を貼付した返信用封筒（郵送の場合）

立	志願資格確認依頼書 高等学校長 様
	令和 年 月 日
	立 中学校長 氏 名 印
	志願者氏名 印
	保護者氏名 印 (氏名を自署する場合は、押印は不要です。)
下記のとおり志願したいので、志願資格の確認をお願いします。	
記	
1	志望学科 (科)
2	志願する学校裁量枠の選抜段階 (文化的活動及び体育的活動の場合には種目名も記載)
3	住所、電話番号
4	志願資格 () 保護者とともに居住し、県外の自宅から通学できる。 () 県内に身元保証人 (民法上の保証人とは異なる。) を定め、身元保証人が生活全般を日常的に支援できる。 ※高等学校から、「身元保証人を紹介する」と事前に説明を受けていて、本依頼書提出時に身元保証人が未定の場合には、下記(1)に「高等学校から紹介を受ける」と記載する。
(1)	身元保証人の氏名
(2)	身元保証人の住所、電話番号
(3)	志願者との関係

.....切取線 (切り取らないで提出する。).....

志願資格確認証明書	
	令和 年 月 日
	立 高等学校長 印
()	下記の者について、本校 [] 科の学校裁量枠の選抜段階 [] への志願資格があることを証明します。
()	下記の者について、本校への志願資格はありません。
記	
1	中学校名 立 中学校
2	氏 名

(注) 1 本用紙のうち「志願資格確認依頼書」は、志願者が作成し、中学校長等を経由して志願しようとする高等学校の校長に、令和 4 年 10 月 31 日 (月) までに提出する。
2 志願資格の有無については、高等学校の校長が高校教育課と協議の上確認し、12 月上旬に、中学校長等を経由して「志願資格確認証明書」を志願者に交付する。
3 本用紙は、複写 (コピー) して使用してもよい。